

# 平成29年度 当初予算成立

～笑顔・元気がかがやく  
未来へ向けた予算～

問い合わせ 企画財政課 ☎2121

平成29年度当初予算では、「晴海臨海公園整備事業」などで大竹市の魅力を一層高めるとともに、防災拠点である本庁舎を耐震化する「本庁舎改修事業」に着手します。

また、今後予定している「大竹駅周辺整備事業」などの大規模事業の着実な実行に加えて、公共施設などの老朽化対策を積極的に盛り込みます。また、各種基金への積み立てを行うなど、中長期的な視点で将来予想される財政負担に備え、将来にわたりまちづくりに取り組み財政運営を目指した予算です。

一般会計の規模は前年度当初予算と比べ8・3%の減となっています。歳入は、可燃ごみ広域処理事業などの衛生費や、にこにここども基金積立金などの民生費などは増加しました。一方、玖波小学校施設整備事業が終了した教育費や、市営住宅御園団地整備事業などの土木費などは減少しました。

歳入は、固定資産税など市税が増加し、玖波小学校施設整備事業などの大規模事業終了などによる国庫支出金や市債などが減少しました。

7つの特別会計の合計は、82億308万円で、前年度当初予算と比べ2・6%の増となりました。

## 一般会計・特別会計の当初予算の概要

### 平成29年度会計別予算 一般会計・特別会計

| 名称       | 平成29年度      | 平成28年度      | 対前年度比 (%) |
|----------|-------------|-------------|-----------|
| 一般会計     | 133億5,761万円 | 145億7,291万円 | ▲ 8.3     |
| 特別会計 計   | 82億 308万円   | 79億9,296万円  | 2.6       |
| 国民健康保険   | 42億8,033万円  | 44億2,774万円  | ▲ 3.3     |
| 漁業集落排水   | 3,441万円     | 3,185万円     | 8.0       |
| 農業集落排水   | 4,716万円     | 4,836万円     | ▲ 2.5     |
| 港湾施設管理受託 | 5,205万円     | 4,932万円     | 5.5       |
| 土地造成     | 3億1,126万円   | 3億3,011万円   | ▲ 5.7     |
| 介護保険     | 30億3,558万円  | 26億7,261万円  | 13.6      |
| 後期高齢者医療  | 4億4,229万円   | 4億3,297万円   | 2.2       |
| 合計       | 215億6,069万円 | 225億6,587万円 | ▲ 4.5     |

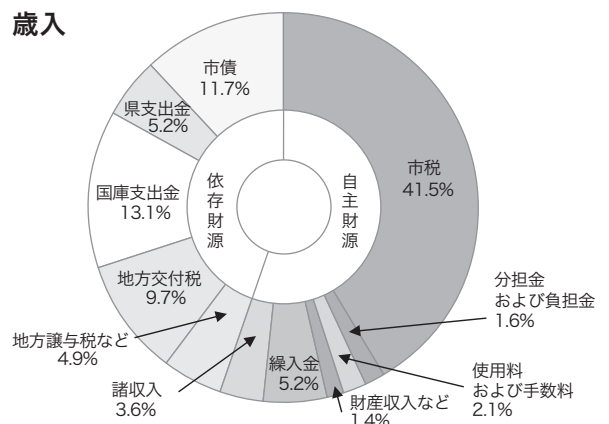
### 企業会計

| 名称        | 区分  | 平成29年度 | 平成28年度    | 対前年度比 (%) |       |
|-----------|-----|--------|-----------|-----------|-------|
| 水道事業会計    | 収益的 | 収入     | 5億4,967万円 | 5億5,095万円 | ▲ 0.2 |
|           |     | 支出     | 5億5,009万円 | 5億3,842万円 | 2.2   |
|           | 資本的 | 収入     | 4,741万円   | 4,152万円   | 14.2  |
|           |     | 支出     | 1億8,760万円 | 1億7,389万円 | 7.9   |
| 工業用水道事業会計 | 収益的 | 収入     | 5億4,758万円 | 5億5,022万円 | ▲ 0.5 |
|           |     | 支出     | 5億3,051万円 | 5億2,403万円 | 1.2   |
|           | 資本的 | 収入     | 2億5,480万円 | 2億3,010万円 | 10.7  |
|           |     | 支出     | 5億4,547万円 | 5億921万円   | 7.1   |
| 公共下水道事業会計 | 収益的 | 収入     | 9億7,721万円 | 9億8,547万円 | ▲ 0.8 |
|           |     | 支出     | 9億4,303万円 | 9億5,579万円 | ▲ 1.3 |
|           | 資本的 | 収入     | 4億6,406万円 | 4億5,561万円 | 1.9   |
|           |     | 支出     | 7億 794万円  | 7億1,651万円 | ▲ 1.2 |

### 一般会計歳入

| 項目   | 内容        | 平成29年度<br>( )は28年度           | 前年度比 (%) |
|------|-----------|------------------------------|----------|
|      |           | 133億5,761万円<br>(145億7,291万円) |          |
| 自主財源 | 市 税       | 55億3,838万円<br>(52億 200万円)    | 6.5      |
|      | 分担金および負担金 | 2億1,480万円<br>(2億2,640万円)     | ▲ 5.1    |
|      | 使用料および手数料 | 2億8,644万円<br>(2億9,300万円)     | ▲ 2.2    |
|      | 財産収入など    | 1億8,854万円<br>(1億1,929万円)     | 58.1     |
|      | 繰入金       | 6億8,807万円<br>(9億9,933万円)     | ▲ 31.1   |
|      | 諸収入       | 4億8,053万円<br>(5億6,951万円)     | ▲ 15.6   |
| 依存財源 | 地方譲与税など   | 6億5,437万円<br>(7億2,261万円)     | ▲ 9.4    |
|      | 地方交付税     | 13億 208万円<br>(14億 427万円)     | ▲ 7.3    |
|      | 国庫支出金     | 17億4,756万円<br>(22億7,855万円)   | ▲ 23.3   |
|      | 県支出金      | 6億9,967万円<br>(10億6,010万円)    | ▲ 34.0   |
|      | 市 債       | 15億5,717万円<br>(16億9,785万円)   | ▲ 8.3    |

### 歳入



215億円だって!!  
1万円札を重ねると、大河原山  
(228m)と同じぐらいの高さ  
になるよ。



## 当初予算の基本的方向

平成29年度は、わがまちプラン(第五次大竹市総合計画)に掲げる「よいまち」の実現に向けて、地方創生事業を推進する事業を盛り込んでいきます。

わがまちプランでは、「住みたい、任んでよかったと感じるまち」をテーマとして、笑顔や元気がかがやく大竹市になるよう、6つの基本目標を定めています。

## 基本目標

- ① 大竹を愛する人づくり
  - ② 生活基盤が整ったまち
  - ③ 安全なまち
  - ④ 安心できるまち
  - ⑤ 心にゆとりを感じるまち
  - ⑥ 行政・社会の仕組みづくり
- 6つの基本目標ごとに、一步一步進めていくことが市民の皆さんが考える「よいまち」の実現につながると考えています。
- また、大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略でも、わがまちプランに掲げる「よいまち」の実現に向けて、基本目標を定めています。
- ① 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する
  - ② 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
  - ③ 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる地域を実現する

## 一般会計歳出(目的別)

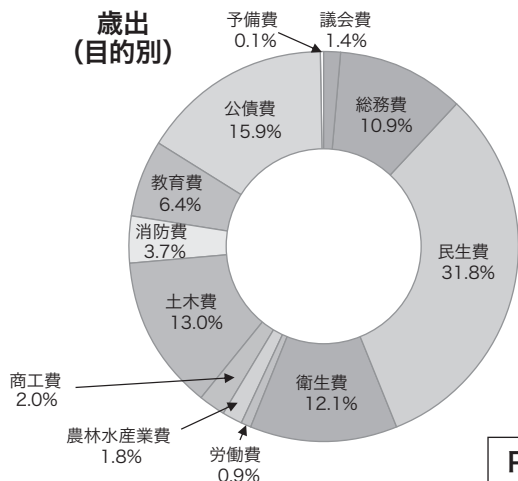
| 項目     | 内容                        | 平成29年度<br>( )は28年度           | 前年度比<br>(%) |
|--------|---------------------------|------------------------------|-------------|
|        |                           | 133億5,761万円<br>(145億7,291万円) |             |
| 議会費    | 議会の活動にかかる経費               | 1億8,237万円<br>(1億9,096万円)     | ▲4.5        |
| 総務費    | 市の一般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費   | 14億4,809万円<br>(18億 243万円)    | ▲19.7       |
| 民生費    | 生活保護や児童・高齢者などの経費          | 42億4,581万円<br>(41億4,750万円)   | 2.4         |
| 衛生費    | 衛生的な生活環境を守るための経費          | 16億1,631万円<br>(11億1,534万円)   | 44.9        |
| 労働費    | 労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費 | 1億2,010万円<br>(1億2,010万円)     | 0.0         |
| 農林水産業費 | 農林業や水産業の振興などの経費           | 2億4,579万円<br>(2億3,251万円)     | 5.7         |
| 商工費    | 商工業の振興や観光宣伝などの経費          | 2億6,743万円<br>(2億6,120万円)     | 2.4         |
| 土木費    | 道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費     | 17億3,778万円<br>(22億2,359万円)   | ▲21.8       |
| 消防費    | 消防・救急業務や災害対策の経費           | 4億9,803万円<br>(5億1,561万円)     | ▲3.4        |
| 教育費    | 小・中学校の運営や社会教育などの経費        | 8億5,477万円<br>(17億6,466万円)    | ▲51.6       |
| 災害復旧費  | 災害復旧工事などの経費               | 0.5万円<br>(0.5万円)             | 0.0         |
| 公債費    | 過去の借入金の返済金                | 21億2,113万円<br>(21億7,901万円)   | ▲2.7        |
| 予備費    | 緊急時のための目的を定めていない予算        | 2,000万円<br>(2,000万円)         | 0.0         |

## 一般会計歳出(性質別)

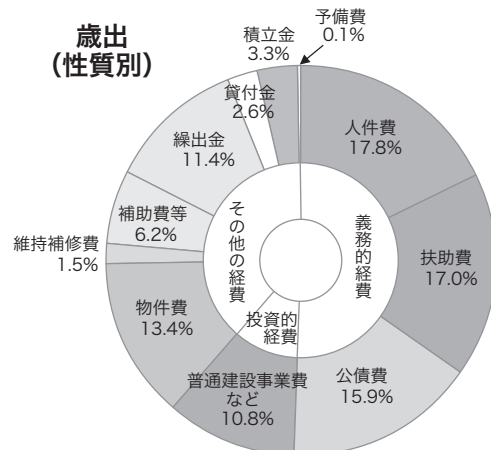
| 項目     | 内容      | 平成29年度<br>( )は28年度                  | 前年度比<br>(%)                |       |
|--------|---------|-------------------------------------|----------------------------|-------|
|        |         | 133億5,761万円<br>(145億7,291万円)        |                            |       |
| 義務的経費  | 人件費     | 市役所で働く人の報酬や給与など                     | 23億7,564万円<br>(24億1,651万円) | ▲1.7  |
|        | 扶助費     | 社会保障制度の一環として、支援を行うための経費             | 22億7,915万円<br>(23億 12万円)   | ▲0.9  |
|        | 公債費     | 過去の借入金の返済金                          | 21億2,113万円<br>(21億7,900万円) | ▲2.7  |
| 投資的経費  | 普通建設事業費 | 道路や公共施設を新增設するための経費                  | 14億3,627万円<br>(24億8,042万円) | ▲42.1 |
|        | 災害復旧事業費 | 災害復旧工事などの経費                         | 0.5万円<br>(0.5万円)           | 0.0   |
| その他の経費 | 物件費     | 賃金、旅費、需用費などの消費的性質をもつ経費              | 17億9,381万円<br>(17億5,424万円) | 2.3   |
|        | 維持補修費   | 道路や公共施設などを管理する経費                    | 1億9,848万円<br>(2億2,779万円)   | ▲12.9 |
|        | 補助費等    | 市からほかの団体などに対して行政上の目的で支払う経費          | 8億2,312万円<br>(8億4,519万円)   | ▲2.6  |
|        | 繰出金     | 会計間や基金との間で相互に資金運用するための経費            | 15億2,233万円<br>(13億7,927万円) | 10.4  |
|        | 貸付金     | 市から行政上の目的で貸付けを行う経費                  | 3億5,319万円<br>(3億8,692万円)   | ▲8.7  |
|        | 積立金     | 財政運営を計画的に行うため、財政変動に備えて基金に積み立てるための経費 | 4億3,449万円<br>(5億8,345万円)   | ▲25.5 |
|        | 予備費     | 緊急時のための目的を定めていない予算                  | 2,000万円<br>(2,000万円)       | 0.0   |
|        | その他の経費  |                                     |                            |       |

※ 災害復旧費は名目のみ予算計上(1万円未満のため千円単位まで表示)しています。

### 歳出(目的別)



### 歳出(性質別)



P9に用語解説があります。

### 3 安全なまちづくり



#### ○本庁舎改修事業(新規)

3,100万円

防災拠点としての本庁舎の耐震化のため、耐震補強などの改修設計を行います。

#### ○浸水対策事業(東栄地区改良調査設計)(新規)

300万円

豪雨などによる浸水の危険性の高い南栄地区の改善のため、東栄地区のクランク形状の水路を改修します。

平成29年度は調査設計を行います。



### 2 生活基盤が整ったまちづくり



#### ○晴海臨海公園整備事業(ファミリーゾーン遊具整備)(新規)

1億2,000万円

幅広い年齢層の方が訪れる公園の整備を進めるため、ファミリーゾーンの整備に着手します。

平成29年度は、ファミリーゾーンに大型遊具などを整備し、子どもから高齢者までが憩い、楽しめるレクリエーションの場を提供します。

#### ○小方地区のまちづくり事業(新規)

600万円

JR新駅設置を前提に、遊休地となっている旧小方小・中学校や旧市民プールの跡地を活用して、将来にわたり活力ある「まちづくり」を進めます。

亀居公園や晴海臨海公園、県商業用地などの周辺施設との連動効果も見据えながら、子育て世代が住みたいと感じるまちとすることで、市全体の魅力を向上させます。

平成28年度に策定した「小方地区のまちづくり基本構想」に基づいて、段階的に整備を進めていくため、平成29年度は、ゾーンを特定し活用策や運営手法を検討します。

#### ○白石墓地移転事業(拡充)

1,164万円

国による砂防事業の計画区域内にある白石地区の共同墓地について、公共補償による移転を行います。

平成29年度は、移転先となる新しい墓地の実設計などをを行います。

### 1 大竹を愛する人づくり



#### ○中学校教育振興事業(英語学力向上事業)(新規)

28万円

日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定を活用し、より将来に役立つ生きた英語を身に付ける取り組みを実施し、英語学力向上を目指します。

平成29年度は市内中学校3年生を対象に英語検定料を全額助成(3級以上、年1回)します。

#### ○奨学金貸付事業(拡充)

1,579万円

経済的な理由により修学の機会がなくなることを防ぐよう、学資の貸付を行います。

平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を導入しています。

平成29年度からは所得要件を緩和します。



# 平成29年度主要事業 (新規・拡充分の主なもの)

## 6 行政・社会の 仕組みづくり



○電子計算機管理事業（移行データ作成事業）（新規）

4,212万円

現行基幹システムは平成30年3月末にサービス終了となるため、次期システム（県クラウド）への移行作業を実施します。

## 予算書を 販売しています

（消費税込み1,000円）

予算書（A4版328ページ）を、企画財政課と各支所で販売しています。（当初予算の概要は無料）

また、市立図書館や情報公開コーナー（市役所2階）、市ホームページでもご覧いただけます。



## 5 心にゆとりを感じる まちづくり



○総合市民会館改修事業（冷却塔改修および身体障害者用トイレなどの改修）（新規）

1,319万円

総合市民会館利用者の環境整備のため、老朽化した空調設備の冷却塔の改修を行います。また、1階から3階にある身体障害者用トイレ入口の改修および便座の取替、正面玄関前のタイル滑り止め対策を行います。

○大竹会館管理事業（張り出しステージ整備）（新規）

228万円

大竹会館アゼリアホールの張り出しステージを、軽く丈夫なものに更新し、生涯学習（文化活動）を推進します。

## 4 安心できるまち づくり



○放課後児童クラブ運営事業（拡充）

4,020万円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に、放課後や長期休暇中、学校行事の代休日に遊びや生活指導を行います。

平成29年度からはすべての放課後児童クラブで、高学年を含めた全学年の受入体制を整え、仕事と子育ての両立支援を拡充します。

○病児保育運営委託事業（拡充）

1,115万円

病気になった児童を、保護者が仕事などのため家庭で保育ができない場合に、独立行政法人国立病院機構広島西医療センター内の施設で一時的に預かります。対象は生後6ヵ月から小学6年生までの病児・病後児です。

平成29年度からは、広島広域都市圏内での「病児・病後児保育事業の相互利用に関する協定」の締結により、市域を越えての病児・病後児保育の利用が可能となりました。

子育て支援に  
関係する事業が  
多くなっているね!!



## 用語解説

### 【一般会計・特別会計】

地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入で特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

### 【歳入・歳出】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費をまかなうものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

### 【自主財源・依存財源】

市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したものの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源。市債も依存財源に含まれる。

### 【性質別歳出】

市の経費をその性質ごとに、義務的経費・投資的経費・そのほかの経費に分類したもの。義務的経費は支出が義務付けられている経費。投資的経費は道路や公共施設の建設などにかかる経費。

### 【目的別歳出】

市の経費を市が行う事業の目的ごとに分類したもの。